



命を考える会

11日(月)に、命を考える会がありました。日本赤十字社福島支部から講師の先生を迎え、防災について考える授業が行われ、1・2年生が一緒に行いました。授業の初めに、190秒間黙とうをしました。「190秒」というのは、東日本大震災当日に地震で揺れた時間だそうです。とても長く感じました。次に、「3月14日の夕方、気温10度、家で地震が起きた」とき、何を持って非難するのかを1・2年生がペアになって考えました。子ども達は、事前に指定されたものの中から選択しました。子ども達に選んだ理由と聞いてみると、「毛布は、寒いときにかけられる」「洋服は、寒いときに着ることができる」などと答えていました。驚いたのは、ほとんどのペアで「家族や友達の写真」を持って逃げると答えていました。理由は、「避難していて寂しいときに見るため」と答えていました。子ども達は、実際避難生活を体験したことはありませんが、その時のことを想像して考えることができました。

ぜひ、ご家庭でも、家で地震が起きたときどうすればよいかを話し合ってください。



○運動着の持ち帰りに ついて

22日(金)は、着替えをしないため、**21日(木)に運動着**を持ち帰ります。

お知らせとお願い

○マイエフロンについて

来週は、春休み前の給食となるため、給食着を着ません。そこで、**来週給食当番になる**お子さんは、ご家庭から**エフロン**と**三角巾**または**バンダナ**を持たせてください。よろしくお願いいたします。

※ 来週給食当番になるお子さんは、**青グローブ**(今週給食着を持ち帰らない)のお子さんです。

